

1 **学校評価のねらい** (学校としての受け止め)

本校の学校教育目標の達成に向け、全教育活動と学校運営の更なる改善と発展を目指し、自己評価や学校関係者評価を実施する。その結果により、目標の達成状況や達成に向けた取組の適切さを検証し、保護者、地域への説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを推進し、生徒がより良い教育活動を享受できるよう、学校として、組織的、継続的な改善を図っていく。

2 **評価の方法** (自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等)

自己評価ならびに学校関係者評価(生徒、保護者、学校評議員)を年2回実施(学校運営協議会委員は1回)している。それぞれ、質問紙により回答されたものを集計し、改善の資料とし、生徒、保護者の集計結果、改善点、改善策を学校だよりや地域の会議等を通じて公表している。

3 **評価の結果**

(1) 主な指標の変化

- ・ 上柴中に誇りをもっている生徒…81.3%→82.9%
- ・ 意欲的に授業に参加し、発言できる生徒…73.9%→74.5%
- ・ 仲間を大切にしている生徒…83.6%→86.9%
- ・ 学校は生徒の事故防止や安全確保に努めていると考える保護者…89.4%→89.5%

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

本校の学校教育目標は『夢・志の実現』自ら学ぶ生徒 心豊かな生徒 たくましい生徒」である。この具現化に向けた指標については、主に次のとおりである。

- ・ 「夢・志」を見つけ、その実現に努力している生徒…85%
- ・ 家庭学習をしている生徒…75.7%
- ・ 学校の決まりや約束を守っている生徒…97.6%
- ・ 部活動に進んで取り組んでいる生徒…88.8%

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

本校の今年度の学校研究課題は「『夢・志の実現』に向け、粘り強く取り組む生徒の育成～ 確かな学力の向上を目指した授業の創造 ～」である。本項目に関わるものの中で、主に以下のものがある。

- ・ 仲間を大切にし、いじめがなく、クラスみんな仲良しだと思える生徒…83.6%→83.6%
- ・ 係・当番・委員会活動にしっかり取り組んでいる生徒…93.9%
- ・ 学校行事に進んで取り組んでいる生徒…93.0%

4 次年度に向けての展望

※ 昨年度との比較と年度間の変化をみとり考察する

平成24年度より継続的に取り組んでいるキャリア教育を推進してきた。「夢・志」をもって日々の学習や学校生活を充実させている生徒の育成は年度を追うごとに増えてきた。これは「夢・志」実現の基礎を培うため、学校研究課題としてキャリア教育を中核にすえ、教科の学習、学級活動、道徳、総合的な学習、生徒会活動を重点的に取り組んだ結果、学校評価における数値の上がった項目が多くなったと考えられる。

しかしながら、意欲的に授業へ参加できる生徒や家庭学習ができる生徒や安心ふっかネットのルールを守れる生徒の割合を高めていくことが今後の課題としてあげられる。

今後も家庭や地域との連携をなおいっそう図りながら、指導の工夫、改善を重ね、生徒の意識を高めて、よりよい習慣を身につけさせたい。そして、生きる力を培い、生徒自らが自己実現に向けて力強く歩んでいけるように指導、支援していきたい。